

原因不明!? 安全上問題なし!? 正常に出庫した電車が「03受信」で急停止について会社説明!

2010年11月3日22時55分頃、東京仕業検査車両所・第二検修庫2番線からC23編成が出庫した際、出庫直後に03受信により急停止したという事象が発生しました。この事象について会社は未だに原因はおろか事象があったことすら一切社員に説明していません。

私たちJR東海労新幹線地本はこのような現象は安全上問題があるとし、原因究明を含め早急に対策を講じる必要があると認識し「東京車両所第二検修庫における出庫直後の03受信に関する申し入れ」(申第21号)を提出しました。それに対して、昨年12月27日に会社から以下のような説明がありました。

会社は「出庫時の03受信については安全上の問題はないので協議はしない。瞬間的な03受信(1秒間程度)はあり、ATCチャートに印字もあった。原因については調査したが、取扱い(人)、車両、設備とも異常はなく原因不明である。何らかの導体が瞬間的に短絡したのではないかと想定される。」というものでした。

組合からは、『原因不明のままでは再発も考えられ構内操縦なども不安を抱えたまま業務することになる。調査を続けないのか。まさか誰かをかばっているのではないのか?』と質しましたが、「これ以上調査はしない。フェールセーフ側にはたらき停止するため問題ない。人的なものはない」と繰り返すのみで、早く終息させたいかのようでした。

しっかり原因究明を行え!!

普段なら責任追及を含めて徹底的に追及(犯人探し?)をする会社にしては、今回はあっさり「原因不明」として調査を終了するというのは腑に落ちないものがありました。ましてや1.29舟体落事故以来、現場作業における全てにチェックシートを実施している車両所です。ソフト・ハード面を含めて安全のためにはとことん調査をするのが事故の再発を防ぐ最大の課題だと思います。

もしも、そこに労務対策上の恣意的な判断が加えられるようなことがあれば、会社の言う「安全」はただの「絵に描いた餅」、労務管理・労組対策上の「道具の一つ」に他ならないということになります。このようなことは決して許されることではありません。

私たちJR東海労新幹線地本は、全ての「申し入れ」について会社の窓口による説明ではなく、必ず業務委員会等協議の場を設定し真摯に議論することを強く要求します。